

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	文化会館・大町公民館 係	事務事業No.	15122
事務事業名	勤労者福祉施設運営管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン		23 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
勤労者福祉施設運営管理を行い、生涯学習を実施するグループや団体の支援

事業の目的
勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う

事業内容
勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	2,089 千円	2,265 千円	2,039 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	685 千円	589 千円	254 千円
	一般財源	1,404 千円	1,676 千円	1,785 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用回数	回	118	113	124	120	103.3%	120
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	4,245	3,693	5,051	4,000	126.3%	4,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標) 北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターへの貸し出し									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	文化会館関連施設のなかでは、利用者は少ないが、大規模集会の際には重宝な施設であり、今後も継続する。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	女性未来館ピュア	係	事務事業No.	15123			
事務事業名	女性未来館ピュア一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	119		頁	個別計画						頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
女性の就労支援と、女性問題に関する啓発活動

事業の目的
新規就業者、中途採用希望者を含む女性労働者、及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。

事業内容
男女共同参画担当主催の「男女共同参画に関する学習会」への協力。就労支援につながる資格取得講座、ライフサイクルにあわせた女性の健康支援の講座や講演会、託児ボランティア活動の人材育成講座など、各種講座、講演会の実施。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,860千円	3,104千円	2,251千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源	0千円	0千円	0千円
		一般財源	1,860千円	3,104千円	2,251千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	資格取得講座	コース	2	2	0	1	0.0%	1
②	ボランティア養成講座	コース	1	1	1	1	100.0%	1
③	健康増進講座	コース	2	3	3	4	75.0%	3

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	資格取得講座受講者	人	131	70	0	50	0.0%	50
	ボランティア養成講座受講者	人	31	53	19	50	38.0%	30
	健康増進講座受講者	人	216	281	125	250	50.0%	150

2. 数値で表せない効果
（指標②）ボランティア養成講座は、受講者自身の資質向上のみにとどまらず、市内各公共施設での講演会・講座などの行事での託児業務のできる人材育成につながり、子育て世代の社会活動参加を促進した。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	ボランティア養成講座は多くの受講者があり、託児ボランティア”バンビの会”会員へ登録し、活動を始めた方が多く、引き続き募集に力を入れたい。また、女性の社会進出に向けて資格取得事業も設けたい。定年を迎えたシニア時代から、若い年齢までの幅広い女性が輝いた人生が送れるような生涯学習になるような講座を取り組んでいきたい。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	女性未来館ピュア	係	事務事業No.	15124			
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
女性の社会参加につながる活動拠点の場をつくる。子育て支援事業を行う。

事業の目的
女性のさまざまな活動のための拠点施設として活動の場を提供し、必要な助言を行い、女性の社会参加の促進を支援する。また、女性の多様化するライフスタイルの中、家庭と仕事を両立するための子育ての支援をする。

事業内容
利用者の会のサークルによる、ピュアフェスタ（ステージ発表・作品展示・体験コーナー）を11月に開催し、生涯学習の啓発活動を行う。受講者自らが企画する企画参加型講座や、文学・手工芸・調理など多種にわたる講座を開催し、教養を深め仲間づくりをする機会とする。親子または子ども向け講座で、子どもの自主性を向上させる。各講座とも託児を行い、子育て世代の参加者を支援する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,914 千円	2,020 千円	1,988 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,914 千円	2,020 千円	1,988 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	女性講座	コース	1	1	1	1	100.0%	1
②	趣味・教養講座	コース	4	6	6	5	120.0%	5
③	子育て支援講座	コース	3	2	2	2	100.0%	2

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
成果指標	①	女性講座受講者	人	249	304	357	300	119.0%	300
	②	趣味・教養講座受講者	人	172	270	527	300	175.7%	400
	③	子育て支援講座受講者	人	170	76	130	100	130.0%	100

2. 数値で表せない効果
（指標③）講座参加者の託児を実施し、子育て世代の趣味・教養の幅を広げ、交流の場を提供することができる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	講座開催日時や、参加形態を工夫し受講者を増やすことができた。季節に合わせたタイムリーな行事も好評であった。引き続きニーズに合った事業に取り組みたい。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	八坂公民館	係	事務事業No.	110128				
事務事業名	山村留学事業					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	1	目	2	
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進											
後期計画掲載頁				頁	個別計画							頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				

事業の概要
 都会から山村へ留学生を受け入れ、異年齢集団の中で物の大切さや思いやり、体験活動を通じて情操教育の向上を図る。地元の小学校児童、中学校生徒が減少し、学校運営に支障をきたしているため、山村留学生の受け入れを支援している。

事業の目的
 山村留学生を受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留学生双方の健全育成を助長する。複式学級の回避他、各方面の教育効果の高揚を図る。情報や人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。

事業内容
 山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	18,113 千円	18,000 千円	18,000 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債	12,600 千円	12,600 千円	12,600 千円
		その他財源			
		一般財源	5,513 千円	5,400 千円	5,400 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	受入農家数	戸	7	8	7	8	87.5%	9
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	山村留学児童生徒数	人	30	28	28	28	100.0%	31
	②								
③									

2. 数値で表せない効果
 （指標）山村留学生と地元の児童、生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。また、毎年山留OBと地元の交流会を実施しており、棚田でのコメづくりを通じて都市との交流を図ると共に、農地の保全に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	山村留学生を受け入れることにより、地元の小中学生への相乗効果が期待できる。八坂及び美麻地区の児童生徒が減少している中で、山村留学生の受け入れは学校運営に今後も必要である。			
	評価点合計	18	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110412			
事務事業名	社会教育総務一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				8	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 社会教育の推進、美術振興の推進について、各付属機関の委員から意見をいただき、事業へ反映していく。また、市民が主となって組織され、継続的に開催している事業への負担金を支出し、協働による事業実施を支援する。

事業の目的
 市が行う各種事業を、より市民に参加いただける事業として開催できるように、意見をいただきながら取り組む。また、市民が自主的に継続して取り組んでいる事業への支援を行う。

事業内容
 社会教育委員会議を開催し、施設の取組みや課題について意見をいただいている。市民の自主的で継続して開催している事業への支援は、第13回雪形まつりへ1,300千円、大町こどもまつりへ122千円、安曇野アートライン推進協議会へ150千円を負担金として支出している。ほかには、成人式を大町市、選挙管理委員会、教育委員会主催で8月15日に開催している。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,900 千円	2,774 千円	2,804 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,900 千円	2,774 千円	2,804 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	社会教育委員会議開催	回	5	5	4	5	80.0%	5
②	成人式の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	負担金の支出	箇所	3	3	3	3	100.0%	3

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	成人式の開催	人	257	257	229	260	88.1%	240
	②	雪形まつりの参加者	人	400	400	400	500	80.0%	500
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	3	3	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	北アルプス雪形まつりは春の文化芸術の行事として継続して開催しているが、市民自らが考え、運営し、創りあげる活動となるよう、また、観覧者の増につながるよう、より主体的な活動と多くの市民に親しまれるお祭りとして開催内容を検討する時期に来ていると考える。社会教育委員会議はH23年度から年5回に増やし、活動する社会教育委員として取り組みを行っていただいている。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110413
事務事業名	社会教育施設運営管理費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
大町公民館分室、蔵の音楽館、ギャラリー・いーずらの管理を行う。

事業の目的
市民等によるサークル活動の活性化を図るため、施設の貸館や保守を行う。

事業内容
嘱託及び臨時職員を配置し、施設の貸館業務を行う。また、施設のエレベーターなどが安全に利用できるように、保守管理業務を委託するとともに、必要な修繕を行い、施設の維持管理に努めている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	9,742 千円	9,543 千円	9,403 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	9,742 千円	9,543 千円	9,403 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率 （％）	次年度（H27） 目標値
①	大町公民館分室開館日数	日	294	292	294	294	100.0%	292
②	蔵の音楽館開館日数	日	294	292	294	294	100.0%	292
③	ギャラリー開館日数	日	68	186	166	69	240.6%	150

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
①	大町公民館分室利用者数	人	25,413	24,901	23,957	26,000	92.1%	25,000
②	蔵の音楽館利用者数	人	1,028	982	869	1,000	86.9%	1,000
③	ギャラリー利用者数	人	3,789	4,089	2,504	3,500	71.5%	3,000

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の 方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続	大町公民館分室は多くの利用者があるが、施設の老朽化により計画的な修繕を要する状態になってきている。ギャラリー・いーずらは民間施設を賃貸している物件であるが、内装等の修繕が必要な時期になっている。両施設とも年次計画を作成し修繕や備品更新を行いたい。				
	評価点合計					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	生涯学習・青少年係	係	事務事業No.	110414			
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	エネルギー博物館の運営費の補助金
事業の目的	エネルギー博物館の運営に要する費用に充てるため補助金を交付する。
事業内容	運営費の助成をして、経常経費分と修繕工事等臨時的費用分の合計額を補助する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	11,350 千円	11,350 千円	14,769 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	11,350 千円	11,350 千円	14,769 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	開館日数	日	191	202	201	200	100.5%	200
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	入館者数	人	6,978	8,447	9,005	10,000	90.1%	10,000
	②	入館料	円	2,101,860	2,551,640	2,551,530	2,600,000	98.1%	2,700,000
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

平成26年度の入館者数は、前年度比6.6%の増加となったが、目標の1万人には届かなかった。入館料収入については、前年度とほぼ同額であった。博物館の経営状況は決して楽観できるものではなく、収益の約8割を補助金に依っているため、経営の効率化及び、収益増加に向けた取り組みが必要である。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	やり方改善	施設の老朽化による修繕や展示品の更新について、運営懇話会の意見を聴きながら、計画的に実施していく。現金収入の確保を図るため、プラネタリウム内に新たに導入した立体投影装置や薪バスもくちゃんの活用など、入館料収入の増のための対策を進める。			
	評価点合計	13 / 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110415			
事務事業名	公民館分館整備助成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁	119		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等					

事業の概要
 地域住民の生涯学習活動や地域活動の拠点となる公民館分館及び地域集会施設の改築、改修に対して補助金を交付し、施設整備を図る。

事業の目的
 地域の公民館等の施設整備を図ることにより、地域住民の交流や生涯学習の場とする。

事業内容
 施設改修、改築、下水道接続などの費用に対し、事業費の1/3を補助する（上限あり）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	千円	2,664千円	15,546千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	千円	2,664千円	15,546千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	改修施設数	件		5	3	3	100.0%	2
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						-	-	-
②						-	-	-
③						-	-	-

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）施設改修が行われたことにより、地域における自治会、公民館の活動拠点が整備され、それに伴って活動の継続、発展が見込まれる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域のコミュニティ施設である公民館や集会所の施設整備は、耐震改修、下水道接続などこれからも要望が見込まれるため、今後も継続していくことが必要と考える。補助制度については、連合自治会総会時や10月広報、自治会のしおりにおいて行ってあり、より適切な周知について検討したい。平成26年度の実施施設は、俵町公民館、南原公民館、新行公民館の三館である。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112	頁	個別計画	第6期社会教育計画	40 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 子ども向けの情報誌「がったつうしん」を発行し、各種行事・イベントや体験活動の情報を提供し、子どもたちの生きる力につながる機会を確保する。

事業の目的
 広く情報の収集を行い、情報を市民の皆様提供することにより、行事等への参加による親子のふれあう機会とするとともに生きる力につながる機会とする。

事業内容
 「がったつうしん」は年4回発行し、市内学校及び事業所へ送付し活用いただいている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	384 千円	1,137 千円	5,820 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	384 千円	1,137 千円	5,820 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	がったつうしん発行	4	4	4	4	100.0%	4
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					-	-	-
②					-	-	-
③					-	-	-
2. 数値で表せない効果		(指標)地域の学びや遊びに関する情報を定期的に提供することにより、親と子が一緒に楽しむ機会の増加が見込まれる。また、市外、県外からの観光客にもイベント情報を提供ができています。					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	平成26年度の事業費が大幅に増加したのは、大町市冬期芸術大学を開催したためである。当該大学は、最終的に創作舞台を受講生により創りあげるもので、企画・プロデュース、パフォーマンス、ファッション、空間美術の4コースに分かれて、専門家の指導のもと、各コースが協力し、共に作り上げる舞台を創りあげるべく活動した。大掛かりな公民館講座的な事業となったが、参加者が創りあげる舞台となり、受講生には好評であったと考えている。また、内容もコンテンポラリーダンスであり、今までの当市の活動にないもので、好き嫌いや分からないといった感想もあったが、新たな事業として刺激的かつ印象的なものになったと考えている。平成27年度以降は、生涯学習課ではなく、市長部局の芸術文化振興係が担当となる。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	人権教育	係	事務事業No.	110417			
事務事業名	人権教育推進事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち					款	10	項	4	目	10
施策目標	一人ひとりが平等で尊重される社会の形成										
後期計画掲載頁	45		頁	個別計画							頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 市民一人ひとりが人権教育を通じて、人権問題を自分自身の問題としてとらえることができ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。

事業の目的
 様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し差別のない明るい市民参加と協働の町づくりを進める。

事業内容
 人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,939 千円	3,917 千円	4,197 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,939 千円	3,917 千円	4,197 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 人権を考える市民の集い	回	6	6	6	6	100.0%	6
② 企業人権教育推進協議会	回	1	1	1	1	100.0%	1
③ 人権週間ポスター展示	回数	2	2	1	2	50.0%	1

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 人権を考える市民の集い	人	849	1,227	1,701	1,300	130.8%	1,700
② 企業人権教育研修会参加	人	98	113	63	150	42.0%	110
③ 人権教育指定校公開授業	人	98	87	122	110	110.9%	120

2. 数値で表せない効果
 人権教育を進めることにより、市民が他の人に対する思いやりと敬意を持つことにより、地域のつながりや協力関係を構築する要因となり協働のまちづくりの推進に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 学校人権教育研究委員会については、当初、小中学校を委員としていたが、高校、保育園、幼稚園と徐々に参加いただいて、現在、未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができるようになった。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である
点数	3	2	3	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	様々な機会を使い啓発を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110421
事務事業名	補導・環境浄化活動事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 2
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進				
後期計画掲載頁	118 頁	個別計画	第6期社会教育計画		19 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 青少年センターが市内各地域等から推薦された補導委員とともに、街頭補導活動や健全育成のための啓発を行う。

事業の目的
 青少年補導委員を委嘱し、街頭補導活動、環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
 青少年補導委員79名を委嘱し、14班編成として下校時等に55回の街頭補導活動を行う。また、各種研修会を開催し青少年のおかれている現状を知っていただく。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,978 千円	2,932 千円	2,835 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,978 千円	2,932 千円	2,835 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	街頭補導活動	回	70	70	55	42	131.0%	56
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					-	-	-
	②					-	-	-

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）補導委員の街頭補導活動等により、青少年の有害な環境の改善、非行防止に効果が出ている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計	青少年非行について大きな問題は生じていない状況にある。街頭補導の際には巡回しても子どもたちに出会うことが少ないと意見を頂戴しているが、巡視活動自体が抑止効果を期待できるため、継続して活動を行っていく。ただし、補導委員の高齢化等により、一部の補導委員が活動できない傾向もあるため、平成27年度においても、活動日数を若干少なくし、集中的かつ重点的な補導活動を行うとともに、補導委員の負担の軽減も図りたい。				
	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110422			
事務事業名	青少年育成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	2
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進										
後期計画掲載頁	118		頁	個別計画		第6期社会教育計画				15	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
地域全体で青少年健全育成に取り組む。

事業の目的
地域の子どもは地域で育てるため、地域の子ども会育成会の活動支援や市民全体で青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
子ども会育成会の活動支援として「子ども体験学習号」を委託契約し、低廉な利用料でバスを運行している。また、8月には青少年育成市民大会を開催し、青少年健全育成に寄与された方々を表彰、青少年健全育成に係る分科会を開催して、市民全体で健全育成の取り組みを行う。
また、未就労、引きこもりの若者について、関係機関と協力して、人とのかかわりが持てるよう積極的な相談活動を展開し、次に向けて少しでも動き出すことができるよう援助していきたい。

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	2,995 千円	2,798 千円	3,110 千円
		国庫支出金			
		県支出金			254 千円
		起債			
		その他財源			
		一般財源	2,995 千円	2,798 千円	2,856 千円

活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	青少年育成市民大会	回	1	1	1	100.0%	1
	②							
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	子ども体験学習号利用数	件	17	13	14	15	93.3%	15
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3

今後の方向性
 方向性 継続
 評価点合計 17 / 18
担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）
 青少年育成市民大会は、6分科会を設け、30人前後を1分科会として参加者が意見等の発言しやすくして開催している。より多くの市民に参加していただけるような分科会の内容を設定していきたい。
 平成26年度の事業費の増は、未就労、引きこもりの若者を対象としたパソコン講習会を開講したためである。市内には小学校又は中学校の時より、障がい、家庭問題や友人との良好な関係を構築できず不登校となり、中学校を卒業してそのまま引きこもりとなってしまった若者や、高校へ進学したものの学校になじめず退学した者、問題を起こして退学に至った若者がまだ多くいる。しかし、こうした、義務教育を離れ、高校を退学した者等への支援はこれまで十分に行われてきたとは言い難い。今回は、自立に向けて行動するまでの精神的、心理的なハードルの高さをふまえ、指導員等の声掛け活動により、身近なパソコン操作の講座という場で、次の行動へ展開するための動機づけの機会を提供することができた。また、講座の開講時間に合わせて行動することで、適切な生活リズムを確保し、自律的な生活となるよう支援した。

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	大町公民館 係	事務事業No.	110432
事務事業名	大町公民館一般経費			会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン		23 頁
事業期間	平成 19 年 ~	平成 27 年	根拠法令・要綱等 社会教育法		

事業の概要	公民館事業の充実と自主的な活動の促進								
事業の目的	学習活動の推進、利用登録団体の登録促進と施設利用の促進								
事業内容	公民館施設の管理、施設の貸館								
事業費	年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	総事業費（決算額）		1,389 千円		1,114 千円		1,240 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		284 千円		305 千円		千円	
一般財源		1,105 千円		809 千円		1,240 千円			
活動指標	指標名		単位	平成24度 実績値	平成25度 実績値	平成26年度 実績値	前年度（H26） 目標値	達成率（%）	次年度（H27） 目標値
	①	貸館日数	日	294	289	294	294	100.0%	290
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標			平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	利用者数	人	24,258	26,304	25,551	26,500	96.4%	26,000
	②	利用回数	回	1,750	1,858	1,934	1,900	101.8%	1,900
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									
※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等									

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	文化会館と一体になって、有用な施設である。施設の老朽が進み計画的な改修が必要			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	大町公民館 係	事務事業No.	110433
事務事業名	大町公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	社会教育法

事業の概要	学習活動の充実や文化
事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。
事業内容	分館事業補助金交付、分館講座の開設支援、大町文化祭開催、北アルプス囲碁・将棋大会開催(2回)、講座の開設(外国人のための日本語教室・すくすく広場・菊づくり講座・小学生のための走り方教室など)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	2,153 千円	2,142 千円	1,764 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,153 千円	2,142 千円	1,764 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度(H26) 目標値	達成率 (%)	次年度(H27) 目標値
①	公民館講座開催	回	66	64	67	67	100.0%	67
②	体育事業	回	4	4	5	4	125.0%	5
③	文化事業	回	3	3	3	3	100.0%	3

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	公民館講座開催	人	1,093	1,970	1,305	2,000	65.3%	1,300
②	体育事業	人	1,100	901	885	1,000	88.5%	900
③	文化事業	人	11,460	10,772	10,528	18,000	58.5%	10,000
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	継続 評価点合計 17 / 18	文化会館と一体となった運営を行うことにより、趣味の活動を支援するといった特殊な面をもっている公民館であり、存在価値は大きい				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館 係	事務事業No.	110434
事務事業名	平公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画	第6期社会教育計画	
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
地域住民の学習・文化・体育活動の拠点として、地域住民の利用に供する。

事業の目的
公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。

事業内容
地域住民の学習・文化・体育活動等への施設利用を図る。公民館講座および自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業による施設利用を図る。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,316 千円	8,133 千円	10,702 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	8,316 千円	8,133 千円	10,702 千円

活動指標		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 貸館日数	日	310	327	345	320	107.8%	330
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 利用者数	人	31,147	25,768	21,820	25,000	87.3%	25,000
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通
点数	3	3	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 16 / 18	施設・設備の老朽化が著しい。今後、地域の活動拠点として担っていくうえで、機能向上と利用環境の快適化を図るために、施設・設備の計画的な改修を行う必要がある。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	平公民館	係	事務事業No.	110435			
事務事業名	平公民館活動費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁			頁	個別計画		第6期社会教育計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、地域住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習の機会提供に努めるとともに、地域住民の自主的な学習活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。

事業内容
 地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	総事業費（決算額）		1,184千円	1,226千円	1,212千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		1,184千円	1,226千円	1,212千円	

活動指標	指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	公民館体育事業	回	6	6	6	7	85.7%	6
	②	公民館講座	コース	13	14	8	12	66.7%	12

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業参加者	人	840	470	410	900	45.6%	800
	②	公民館講座受講者	人	392	334	221	390	56.7%	250

2. 数値で表せない効果
 （指標 ） 自主学習活動サークルの中には、自身の学習活動ばかりでなく、福祉施設等への慰問や独自の発表会を開催するグループもみられ、学習成果の活用がみられる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 近年運動会の中止などにより体育事業の参加人数が減少している。球技大会も、開催種目が減少するなど、規模が小さくなってきている。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	公民館体育事業は、出場者を募るために各地区役員が苦慮している。参加チームの減少、さらには競技が成立しない種目さえみられる。自治会未加入世帯の増加、少子高齢化、ライフスタイルの変化などの原因が考えられるが、コミュニティ活動の充実に資するという事業の意義を堅持しつつ、実情を勘案して立案するよう改善が求められる。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110436
事務事業名	常盤公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン		
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等 社会教育法第24条、地方自治法第244条の2第1項、大町市公民館条例	

事業の概要
 地域住民の身近な行政機関としての窓口事務。また地域の分館事業や生涯学習などの活動の拠点としての施設管理

事業の目的
 利用しやすく集いやすい施設として、適正な維持管理

事業内容
 窓口事務、貸館事業、公民館運営審議会、施設管理業務委託、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	10,274 千円	10,504 千円	10,220 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	297 千円	240 千円	230 千円
		一般財源	9,977 千円	10,264 千円	9,990 千円

活動指標	指標名	単位	平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	292	293	301	290	103.8%	290
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	1,229	1,160	1,167	1,200	97.3%	1,200
	②	利用者数	人	16,156	14,981	15,704	16,000	98.2%	16,000
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域コミュニティの拠点施設として必要な施設である。建築後20年を経過しており、施設内のさまざまな器具が破損してきているため、計画的な修繕をし適正な維持管理が必要である。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110437
事務事業名	常盤公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン	
事業期間	平成 24 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

事業の概要
地域の拠点施設として、主体的に公民館事業を実施するほか、生涯学習の場・機会を提供・支援し、地域のコミュニティの構築を図る。

事業の目的
生涯学習のまちづくりと地域づくり、青少年の健全育成

事業内容
体育事業、文化事業、講座事業、青少年健全育成、分館活動支援事業ほか

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,043 千円	1,043 千円	949 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,043 千円	1,043 千円	949 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	3	2	3	3	100.0%	3
②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2
③	講座事業	回	44	62	63	50	126.0%	50

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	1,252	440	1,046	1,300	80.5%	1,200
	②	文化事業参加者	人	178	113	222	200	111.0%	200
	③	講座事業参加者	人	810	1,307	1,069	1,000	106.9%	1,100
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	ライフスタイルの変化などにより、地域コミュニティが希薄化していることが参加者減の原因の1つと考えられる。一方で、近年の全国各地で発生する自然災害などから地域の互助・連携が見直しされている。社会環境の変化にあわせ、関心を持ってもらえるような活動内容に加え、現在の情報社会にもあわせた情報提供にも取り組み、改善を進めることが必要と考える。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110438
事務事業名	社公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要	施設管理費用
事業の目的	施設の適正管理
事業内容	貸館事業、公民館運営審議会、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など

事業費	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	総事業費（決算額）	8,403 千円	8,134 千円	7,800 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		8,403 千円	8,134 千円	7,800 千円	

活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	貸館日数	日	199	229	220	230	95.7%	220
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	398	428	383	430	89.1%	400
	②	利用者	人	6,945	7,010	5,405	7,000	77.2%	6,000
	③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続						
	評価点合計	地域の拠点施設として必要な施設である。					
	18	18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110439
事務事業名	社公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
地域の活動拠点施設として、主体的に公民館事業を実施したり、学習機会の提供・支援、コミュニティの構築を図る

事業の目的
生涯学習のまちづくりと地域の絆づくり

事業内容
体育事業、文化事業、講座事業、分館支援事業ほか

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	824 千円	664 千円	655 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	824 千円	664 千円	655 千円

		平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回 3	2	2	3	66.7%	3
②	文化事業	回 1	1	1	1	100.0%	1
③	講座事業	回 39	35	34	40	85.0%	40

1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業参加者	人 704	575	604	700	86.3%	700
②	文化事業参加者	人 379	303	294	350	84.0%	350
③	講座事業参加者	延べ人数 776	741	797	750	106.3%	750
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	少子高齢化とライフスタイルの変化により参加者減の傾向にあるが、運動会や元旦マラソンなどの開催にあたっては地域の枠を超えての参加が定着しつつあり、毎年楽しみにしている方々が増えていくように思える。更なる発展に向けた取り組みを考えたい。また講座等の学習的な取り組みとしては、社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報化社会に合わせた取組みと改善が必要と考える。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104310
事務事業名	八坂公民館一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10	項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 18 年	～	平成		年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 公民館の維持管理を行い、公民館活動の推進とともに地域住民の活動拠点として利用できる体制、整備を行い、利用促進を図る。

事業の目的
 公民館施設を適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。災害時の避難施設として、常に開放できるように整備を図る。

事業内容
 電気料、電話料、水道料、燃料費、清掃委託料、浄化槽点検委託料、公民館長報酬、夜間管理員賃金等を支出して施設の維持管理を行った。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	5,872 千円	5,362 千円	6,293 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	5,872 千円	5,362 千円	6,293 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者	人	3,941	1,709	1,817	1,700	106.9%	1,700
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	登録団体	数	3	3	3	3	100.0%	3
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）利用者数は伸び悩み状態であるが、地域コミュニティの拠点として事業を推進している。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 施設には、公民館長と主事の2人しかいないため、2人同時に会議や行事に出席する際は、留守番（管理人）を雇用して対応している。また、1名が不在の場合、突発的な出来事が生じた際の対応に苦慮する状況にある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	支所と公民館が一体となり、マンパワーを結集して地域づくりを推進するため、公民館を八坂支所へ移転することについて公民館運営審議会に諮問したところ、「移転することが望ましい」との答申を得た。これにより、答申の内容について地域づくり委員会での検討を市長部局に依頼している。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館 係	事務事業No.	1104311
事務事業名	八坂公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 18 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
八坂地区の乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の学習機会の提供を行い、地域づくり、人材育成を図る。

事業の目的
学級講座や文化、体育事業を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを行い、団体、サークルの育成をめざす。

事業内容
八坂地区市民運動会をはじめ、文化祭、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等各学級講座を実施した。山村留学を行っている育てる会と連携し、通学合宿や登山を実施した。また、育成会をはじめ団体事業、図書の貸し出し、学社連携による事業を開催した。

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費(決算額)	930千円	766千円	1,688千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源	930千円	766千円	1,688千円		

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化事業	回	6	4	4	4	100.0%	4
	②	体育事業	回	4	4	5	5	100.0%	5
	③	学級講座	数	5	7	6	7	85.7%	7

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化事業	人	400	300	300	300	100.0%	300
	②	体育事業	人	400	500	500	500	100.0%	500
	③	学級講座	人	1,000	1,100	1,100	1,100	100.0%	1,100

2. 数値で表せない効果
(指標) 公民館事業の実施により、住民の自治能力の向上や地域住民が交流する機会の創出により、地域の活性化に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	たけのご保育園、八坂小学校と合同で開催した八坂地区市民運動会は、第2回目となるが、世代間を超えた親睦と交流が図られ、元気で活力ある地域づくりに繋がった。高齢者学級は年10回開催しているが、毎回約70人の参加者があり、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。八坂地区は少子高齢化が急速に進み年々参加者も減ってきているが、各年代を対象とした公民館活動はより積極的に継続していく必要がある。					
	評価点合計	18	/ 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104312
事務事業名	美麻公民館一般経費			会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
生涯学習の基盤づくり・地域全体で取り組む子育て支援・協働を基本とした地域コミュニティの再生のための公民館事業

事業の目的
学びの絆で地域力を高める生涯学習の推進

事業内容
公民館長、公民館運営審議委員、元気アップ健康づくり推進支援指導員、公民館連絡調整及び研修旅費、資料代等事務用品を支出し、美麻地域公民館事業計画を検証し、地域と学校の連絡調整、並びに地域住民、特に発達段階における児童生徒の生活習慣改善に向けて地域を挙げて支援する。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	4,681 千円	4,667 千円	4,551 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	4,681 千円	4,667 千円	4,551 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	245	246	246	245	100.4%	246
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	86	131	173	130	133.1%	180
	②	利用者	人	1,758	2,057	2,671	2,000	133.6%	2,800
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	第4次大町市生涯学習推進プランに沿った美麻地域公民館事業計画を検証し、コミュニティ・スクールによる地域で支える学校づくりの推進のため地域と学校の連絡調整、特に発達段階における児童生徒の生活習慣改善に向けて地域を挙げて支援する。				
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	美麻公民館	係	事務事業No.	1104313			
事務事業名	美麻公民館活動費					会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁	119		頁		個別計画						
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 社会や地域の要請に適合したより質の高い公民館事業の展開

事業の目的
 地域づくり担い手育成を図るとともに、地域文化・学習の場の提供・スポーツ活動・レクリエーション等の運営に努め、生涯学習、地域づくり活動、地域課題解決の場として、参加と協働の理念に基づき各種事業を地域住民とともに企画運営し、事業を通じて住民の絆と住みよい地域の実現を目指します。生涯を通じて学ぶことは、自己を向上させ生活を高めめます。私たちが生活する地域のことを考え、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習できる公民館活動を推進するとともに、地域と連携した学校づくりの普及を図っていきます。

事業内容
 次代を担う子ども達への「生活習慣の改善と体力・気力・学力向上」の取り組みに地区を上げて支援するとともに、地域の絆を深めるため災害時住民支えあいマップづくり等支援し、意識の高揚を図る。
 ①各種講座・学級等の推進 ②住民交流の場の提供 ③分館事業の推進 ④学習活動の場の提供 ⑤地域担い手の育成、学校と地域が力を合わせ、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支えるための仕組みづくりの支援。

事業費	年度	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳	総事業費（決算額）	723		839		1,221	
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他財源						
	一般財源	723		839		1,221	

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
②	文化事業	講座	10	10	12	10	120.0%	14
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業参加者	人	557	545	646	550	117.5%	650
	講座事業参加者	人	1,061	1,003	1,308	1,000	130.8%	1,300

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3

評価
 今後の方向性
 17 / 18
 方向性 継続
 担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）
 地域づくり担い手育成を図るとともに、地域文化・学習の場の提供・スポーツ活動・レクリエーション等の運営に努め、生涯学習、地域づくり活動、地域課題解決の場として、参加と協働の理念に基づき各種事業を地域住民とともに企画運営し、事業を通じて住民の絆と住みよい地域の実現を目指します。生涯を通じて学ぶことは、自己を向上させ生活を高めめます。私たちが生活する地域のことを考え、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習できる公民館活動を推進するとともに、地域と連携した学校づくりの普及を図っていきます。

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	図書館 係	事務事業No.	110442
事務事業名	図書館管理運営一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 4
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則					

事業の概要
図書館の管理運営並びに図書館協議会の組織及び運営を行っている。

事業の目的
図書館の管理運営を円滑に行い、図書館活動の推進のため、市民の生涯学習び情報の拠点の場として図書館を提供することを目的とする。

事業内容
図書館のコンピューターシステムの保守や警備等5件の業務について、委託契約を締結し、施設の管理運営を行っている等、地域住民の多彩な生涯学習、社会活動を支える場として機能するよう業務を行っている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費(決算額)	30,887 千円	31,704 千円	21,213 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	30,887 千円	31,704 千円	21,213 千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 開館日	287	283	282	282	100.0%	290
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
成果指標	① 来館者数	42,803	40,908	42,865	41,000	104.5%	43,000
	②						
	③						
2. 数値で表せない効果 (指標①)・書架の配置換え、くつろぎ易い環境作りや、マナー向上の取り組みなど館内環境の整備を進める中で、本・雑誌・新聞等の閲覧や調査など、図書館で時間を過ごす利用者が増加している傾向が見られる。・平成24年度より祝日開館をし、利用者の便宜を図っている。							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通
点数	3	3	2	3	2	3
評価	方向性					
	継続	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	評価点合計	16 / 18				

①学校図書館との連携を強化するために学校図書館においてもシステムの導入を考えていく。
②平成25年度から、地震発生時の本の落下を防ぐため、児童コーナーの書棚の高い部分には落下防止シートを設置し、利用者の安全対策を図っているが、一般図書コーナーの書棚においても引き続き設置を進めていく。
③市人口の減少や読書に変わる娯楽の多様化などにより利用者数は減少傾向にあるが、地域住民のニーズに対応すると共に図書館を生涯学習や読書活動の場として提供していくことが必要である。

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110443				
事務事業名	図書資料購入事業					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	4	
施策目標	社会教育の充実と活性化											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則

事業の概要
 図書館資料の購入

事業の目的
 市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、来館者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。

事業内容
 市民のニーズに適合した資料の選定及び購入。
 市民のリクエスト本の購入。
 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入。
 図書資料の収集、整理。
 返却本の修理。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	7,927 千円	8,000 千円	7,722 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	7,927 千円	8,000 千円	7,722 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	図書購入	冊	4,037	4,322	4,200	4,000	105.0%	4,000
	②								
③									
2. 数値で表せない効果									
（指標①）大活字本、大型絵本、社会科学、自然科学、芸術などの分野の図書の拡充により、図書館への興味や生涯学習の意識が高まり、専門的知識も向上したと考えられる。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	大活字本、大型絵本、社会科学、自然科学、芸術などの分野の拡充により、図書館来館者及び利用者も昨年より増加した。今後とも市民が来やすく、さまざまなニーズに合った資料提供、読書好きな市民を育てることのできる資料収集や書籍購入に繋がるよう事業を検討し、改善していく。			
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	文化会館	係	事務事業No.	110452			
事務事業名	文化会館管理一般運営経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	潤いのあるまち					款	10	項	4	目	5
施策目標	歴史文化の振興										
後期計画掲載頁	109		頁	個別計画		第4次生涯学習プラン				15	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	27	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
文化会館・サンアルプス大町の施設の管理、運営を行う。

事業の目的
文化会館・サンアルプス大町の施設を安全、適正に管理、運営を行う。文化会館の舞台機構等設備を計画的に順次更新する。

事業内容
文化会館運営委員会の開催、文化会館等管理臨時職員賃金、文化会館等需用費、文化会館等役務費、文化会館等委託料(清掃・空調保守点検・舞台音響保守点検・舞台照明保守点検・舞台機構保守点検・警備・エレベーター・自動ドア等)工事請負費(電動ライトバン電動機構等改修工事)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費(決算額)	63,021千円	71,340千円	74,874千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	5,021千円	4,915千円	4,379千円
		一般財源	58,000千円	66,425千円	70,495千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数(サンアルプス)	255	289	289	289	100.0%	289
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	サンアルプス利用者数	22,188	20,214	29,816	21,000	142.0%	21,000
②	サンアルプス利用数	498	467	516	480	107.5%	500
③							
2. 数値で表せない効果		(指標)					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり	
点数	3	3	3	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	文化会館と一体となった運用を行い、使い勝手の良い施設として機能している。一方で施設の老朽化が進み維持補修に多くの財源を必要としており、今後のあり方や運営の方向を模索する必要がある。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	文化会館 係	事務事業No.	110453
事務事業名	文化会館公演事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 5
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン		15 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
市民のニーズに合った舞台芸術にふれる機会を提供し、舞台芸術との出会いを通して、生きる喜びや感動を伝え、潤いのあるまちづくりを推進する。

事業の目的
舞台芸術にふれる機会の少ない市民が気軽に楽しく芸術文化にふれあうことができるよう、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動の促進や鑑賞機会を提供する。

事業内容
7/21ベンチャーズ公演、8/9劇団若獅子公演、9/14華原朋美コンサート、11/3長野朝日放送トークショー
11/8芸術文化ふれあい事業、11/2.16.23市民芸術祭、2/28ファミリーコンサート
3/22劇団四季「ふたりのロッセ」公演

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	28,137 千円	28,397 千円	30,968 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	8,007 千円	9,513 千円	9,753 千円
	一般財源	20,130 千円	18,884 千円	21,215 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化会館自主事業	回	5	6	12	6	200.0%	10
②	文化会館利用数	回	92	92	120	100	120.0%	100
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化会館自主事業入場者数	人	5,170	5,341	4,539	5,500	82.5%	5,500
	②	文化会館入場者数	人	30,074	37,542	31,815	38,000	83.7%	38,000
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続	市民の文化芸術活動の発表の場であると共に、日頃接することの少ない芸術性高い芸術や娯楽の場としての位置づけがある。今後一層市民文化芸術活動の発表の場としての機能が求められている。一方で、建築後30年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後ソフト面での機能をはたすため、ハードの整備が必要であり、計画的に施設改修を行っていく。				
	評価点合計					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110461
事務事業名	文化財保護一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	平成 61 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	文化財保護法・大町市文化財保護条例・文化財保護補助金交付要綱

事業の概要
 大町市には、国・県・市指定の文化財が数多くの文化財が存在する。これら文化財の保存と継承活動を推進するとともに地域創出の資源として活用する。

事業の目的
 文化財保護の推進と地域活性化のための文化財の積極的な活用ができるよう、歴史や文化に触れ合う場を目指す。

事業内容
 文化財に関する講座・見学会の実施。
 指定文化財、未指定文化財の調査研究。
 指定文化財等の保存修理および文化財保護・活用に対する支援（保護事業助成）。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,308 千円	5,186 千円	7,956 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	5,308 千円	5,186 千円	7,956 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等開催数	10	10	10	12	83.3%	12
②	文化財保護事業費助成件数	5	2	4	4	100.0%	4
③	指定・未指定文化財調査件数	5	5	4	5	80.0%	4

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等参加人数	491	483	468	550	85.1%	500
②	文化財保護事業助成金額	2,385,500	1,529,000	2,080,400	2,092,000	99.4%	3,300,000
③	説明板・案内板設置件数	2	1	2	2	100.0%	2
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 文化財保護事業費の助成は、文化財所有者負担金が伴うことから、事業費の確保ができてから助成の判断をすることから件数・金額はその年により増減が出てくる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	国民・市民共有の財産と位置づけられる文化財を後世に継承していくため、保存・整備を推進・継続し、文化財所有者との連系を深めて、地域資源として活用していくことが必要である。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110462
事務事業名	遺跡発掘調査事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	昭和 54 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	文化財保護法

事業の概要
 地中に埋もれている埋蔵文化財（遺跡）の情報を把握し、その成果を歴史教材として活用する。

事業の目的
 埋蔵文化財の保護・活用。記録保存。

事業内容
 学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	6,620 千円	8,425 千円	2,556 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	4,560 千円	7,650 千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,060 千円	775 千円	2,556 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 発掘調査件数	件	1	2	1	1	100.0%	2
② 試掘調査件数	件	5	4	4	6	66.7%	4
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 発掘調査面積	m ²	300	1,100	200	200	100.0%	900
② 調査遺跡内容					-	-	-
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ②）調査遺跡の内容は遺跡によって時代・範囲等に違いがあり、その成果内容も違ってくる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査、開発対象地の試掘調査に分けられ、年度により事業のばらつきがある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計	発掘調査は、その年により、開発等の関係などにより実施件数が違ってくる。				
	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110463
事務事業名	文化財センター管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	平成13年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	大町市文化財センター設置及び管理に関する条例

事業の概要
大町市に関係する歴史・民俗ほかについて学習・研究する場とする。

事業の目的
大町市における歴史、民俗その他の資料を保管・展示・調査研究をおこない文化財保護の推進を図る拠点とする。

事業内容
歴史・民俗資料調査研究、収蔵、企画展の実施。資料（史料）の公開。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	998 千円	1,061 千円	1,295 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	103 千円	千円
	一般財源	998 千円	958 千円	1,295 千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 企画展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 資料公開・閲覧利用者数	人	39	35	28	50	56.0%	50
② 企画展見学者数	人	39	34	67	50	134.0%	50
③							

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
講座など文化財保護一般経費事業と重複する点が多く、センター管理が主となる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い
点数	3	3	2	2	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計	他の文化財保護事業と重複する部分がかかなりあることから、施設の管理、資料の保管を中心とする。				
	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化財	係	事務事業No.	110465
事務事業名	中村家住宅管理事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	潤いのあるまち				款	10	項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興						
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画			31-34 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例

事業の概要
有形文化財のうち、特に重要とされ、国重要文化財に指定された旧中村家住宅の保存と活用を図り、公開し、文化財保護を広く普及啓発する。

事業の目的
重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と歴史にふれあう場とする。

事業内容
毎年4月から11月までの8ヶ月間重要文化財建造物を公開、維持・管理を行っている。
維持・管理事業として平成23年・24年度には国庫補助事業として主屋・土蔵の保存修理事業を実施したが、平成26年神城断層地震のため被害を受け、災害復旧(国庫補助事業)として保存修理を3月より実施。(27年10月完了予定)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	26,612 千円	1,066 千円	1,981 千円
	国庫支出金	12,397 千円		
	県支出金	743 千円		
	起債	11,600 千円		
	その他財源	156 千円	351 千円	264 千円
	一般財源	1,716 千円	715 千円	1,717 千円

指標名		単位	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	前年度(H26) 目標値	達成率 (%)	次年度(H27) 目標値
①	旧中村家住宅公開日数	日	160	180	180	180	100.0%	170
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	建造物保存修理工事	%	100	—	10	—	100
②	旧中村家住宅入館者数	人	512	1,262	954	1,000	95.4%
③							

2. 数値で表せない効果
(指標①) 旧中村家住宅主屋・土蔵の屋根を中心とした、保存修理事業を平成23・24年度で実施し、文化財建造物の保存をはかったが、平成26年神城断層地震のため被害を受け、災害復旧として保存修理を実施。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
平成18年合併時より重要文化財公開事業を引き継いでいるが、年々見学者数が減少しつつあったが、平成25年度には、入館者が増となったが、26年度には再び減少した。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	適正である
点数	3	3	2	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	市街地から離れている場所に所在することから、中々見学者の増加は見込めないが、美麻地区と連携し継続して保護・活用に努める必要が考えられる。				
	評価点合計	15	18				